

# 消防庁舎（消防署所）再編行動計画

## 1. 計画の目的

本行動計画は、公共施設適正配置計画（以下「適正配置計画」という。）に基づき、消防庁舎の再編・再配置を進めるにあたり、諸課題を整理するとともに、課題解決に向けて市等が取り組む具体的な方策やスケジュール等を示し、市民・地域など関係者と情報の共有化を図り、合意形成のもと、着実に公共施設の再編・再配置を進めることを目的とします。

## 2. 消防庁舎再編の対応方針及び対象施設の状況の再検証

適正配置計画第2章「施設分類ごとの適正配置方針」に示すように、八幡地域には、全市的な指令機能と主に市域の南部を管轄する郡上市消防本部・郡上中消防署、白鳥地域には主に市域の北部を管轄する郡上北消防署を配置しています。また、美並地域に郡上中消防署南出張所、和良地域には和良庁舎に併設する郡上中消防署東詰所を配置し、市域南部の消防防災機能を補完しています。

消防行政機関としての役割とともに、市民の安心・安全の確保及び消防活動の円滑な活動を行うため、具体的な対応策を検討し、各施設について建物の劣化及び各設備の状況について再検証します。

### （1）対象施設の状況（詳細は、適正配置計画 19～22 ページを参照してください。）

施設名	地域	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	今後の方針		職員体制
				機能	施設	
① 郡上市消防本部・郡上中消防署	八幡	32	1479.56	継続	継続	正:43 再:3
② 郡上北消防署	白鳥	27	678.88	継続	継続	正:23
③ 郡上中消防署南出張所	美並	25	196.00	継続	継続	正:10
④ 郡上中消防署東詰所 (郡上市役所和良庁舎併設)	和良	4	78.14 (1070.00)	継続	継続	正:9

※公共施設適正配置計画より。築年数は、2019年（令和元年）現在  
※職員体制は2021年（令和3年）現在

### （2）郡上市公共施設適正配置計画における対応方針

各施設は耐震基準を満たしていますが、建築から30年を超え老朽化が進んでいる施設もあります。消防防災業務を行う行政庁舎のため、火災や救急に備えて24時間、365日開庁しており、常時出動できる態勢を整えています。これらの施設について、適正配置計画では、基本的な対応方針を次のとおりとしています。

広範な郡上市において、安全・安心を守るための常備消防力は今後も充実強化し、活動拠点となる消防署所の施設は、予防保全を含めた長寿命化を図ります。

また、消防設備や資機材の計画的な更新、消防防災活動に従事する職員の能力向上等により消防力の強化を図ります。

### （3）対象施設の利用実態及び課題（令和元年度）

後述する「3. 再編・再配置のシナリオとスケジュール」において、個々の施設の最終的な再編の取組みの妥当性を検証するため、現時点（令和元年度実績）における各消防庁舎で実施している施策や事業内容及び課題について整理します。

① 郡上市消防本部・郡上中消防署

消防防災行政の統括と市南部地域の防災拠点として設置しています。

<b>施設の構造等</b>		○鉄筋コンクリート造 2 階建て、延床面積 1,479.56 m <sup>2</sup> ○昭和 62 年に新耐震基準で建設し、建築から 32 年経過し、老朽化が進行
<b>施設の構成</b>		○執務室、消防長室、会議室、食堂、仮眠室、更衣室、浴室、車庫などで構成
<b>業務の内容</b>		○消防本部は、消防総務課、予防課、警防指令課に分かれており、消防総務課は主として人事、予算等の消防組織そのものを維持するための事務を展開。予防課は主として危険物製造所等の許認可、火薬類の取り締まり、消防用設備等の設置指導等の火災予防を展開。警防指令課は主として緊急通報受付、出動指令、無線統制等の出動部隊の指揮命令を展開。 ○郡上中消防署は、消防車 6 台、救急車両 3 台を配備し、八幡町、明宝の一部、大和町の一部を管轄している。365 日、24 時間、3 交代制で職員が常時勤務し、火災の予防、警戒、鎮圧、その他の災害の防除及び災害による被害の軽減の活動を展開。
<b>施設の概況</b>	<b>利用時間</b>	○365 日、24 時間体制で対応。 ○窓口業務は、警防指令課で対応。
	<b>管理・運営</b>	○管理運営は直営 ○管理運営費は、人件費を含め年間約 22,735 千円 ○自販機設置による目的外使用料として、約 50 千円を収入
	<b>施設内の機能</b>	○付帯施設として、訓練棟を設置。鉄筋コンクリート造、201.84 m <sup>2</sup> ○昭和 62 年に新耐震基準で建設し、建築から 32 年経過し老朽化が進行

② 郡上北消防署

市北部地域の防災拠点として設置しています。

<b>施設の構造等</b>		○鉄筋コンクリート造 2 階建て、延床面積 678.88 m <sup>2</sup> ○平成 4 年に新耐震基準で建設し、建築から 27 年経過
<b>施設の構成</b>		○執務室、会議室、食堂、仮眠室、更衣室、浴室、車庫などで構成
<b>業務の内容</b>		○郡上北消防署は、消防車 5 台、救急車両 2 台を配備し、白鳥町、高鷲町、大和町の一部を管轄している。365 日、24 時間、3 交代制で職員が常時勤務し、火災の予防、警戒、鎮圧、その他の災害の防除及び災害による被害の軽減の活動を展開。
<b>施設の概況</b>	<b>利用時間</b>	○365 日、24 時間体制で対応
	<b>管理・運営</b>	○管理運営は直営 ○管理運営費は、人件費を含め年間約 2,367 千円
	<b>施設内の機能</b>	○付帯施設として、訓練棟を設置。鉄筋コンクリート造、106.88 m <sup>2</sup> ○平成 4 年に新耐震基準で建設し、建築から 27 年経過

### ③ 郡上中消防署南出張所

市南部地域の防災機能を補完するため設置しています。

施設の構造等	○鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積 196.00 m <sup>2</sup>	
	○平成 6 年に新耐震基準で建設し、建築から 25 年経過	
施設の構成	○執務室、食堂、仮眠室、浴室、車庫などで構成	
業務の内容	○郡上中消防署南出張所は、消防車 2 台、救急車両 1 台を配備し、美並町、八幡町の一部を管轄している。365 日、24 時間、3 交代制で職員が常時勤務し、火災の予防、警戒、鎮圧、その他の災害の防除及び災害による被害の軽減の活動を展開。	
施設の概況	利用時間	○365 日、24 時間体制で対応
	管理・運営	○管理運営は直営 ○管理運営費は、人件費を含め年間約 621 千円
	施設内の機能	—

### ④ 郡上中消防署東詰所

市南部地域の防災機能を補完するため設置しています。

施設の構造等	○木造平屋建て、延床面積 78.14 m <sup>2</sup> (車庫等と和良庁舎共用部分除く)	
	○平成 27 年に新耐震基準で建設し、建築から 4 年経過	
施設の構成	○執務室、食堂、仮眠室、浴室、などで構成	
業務の内容	○郡上中消防署東詰所は、消防車 1 台、救急車両 1 台を配備し、和良町、八幡町の一部、明宝の一部を管轄している。365 日、24 時間、3 交代制で職員が常時勤務し、火災の予防、警戒、鎮圧、その他の災害の防除及び災害による被害の軽減の活動を展開。	
施設の概況	利用時間	○365 日、24 時間体制で対応
	管理・運営	○管理運営は直営 ○管理運営費は、人件費を含め年間約 586 千円
	施設内の機能	—

## 3. 各施設の再編・再配置のシナリオとスケジュール

適正配置計画における対応方針と対象施設の再検証の状況から、郡上市の消防庁舎のあり方にかかる検討課題を以下のポイントで整理し、全体的な方向性を示したうえで、個々の建物の具体的な再編・再配置のシナリオを示します。

### (1) 全体的な方向性について

消防本部は、消防事務を統轄する機関で、主として人事、予算等の消防組織そのものを維持するための事務や、消防行政の運営に関する企画、統制等の事務を処理し、重要な役割を担っています。

消防署は、火災の予防、警戒、鎮圧、その他の災害の防除及び災害による被害の軽減の活動を第一線に立って行う機関で、365 日、24 時間、職員が常時勤務し、常に災害対応等に備えており、適切な環境整備を図ります。

特に、近年、女性消防吏員の活躍推進が一層求められていることや、新型コロナウイルス感染症への対応など社会情勢の変化を踏まえ、仮眠室の改善等必要な対策を講じます。

また、常備消防として国が定める消防力整備水準に照らし、必要な資機材の整備や人材の育成について計画的に進めます。

## (2) 全体の方向性を踏まえた各施設個別の課題と取組みについて

### ① 郡上市消防本部・郡上中消防署

#### 【適正配置計画における対応方針】

消防防災行政の統括と市南部地域の防災拠点として、消防防災機能を継続し、施設は予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

#### 【行動計画】

- 庁舎及び機械設備について、定期的な点検及び計画的な改修等を行い、長寿命化を図ります。
- 装備については、消防力整備水準に照らし、別途策定している「消防車両更新計画」等に基づき計画的に整備します。
- 女性消防吏員に対応した施設環境の整備や 24 時間体制を維持するために必要な仮眠室の感染症対策等について、保全計画を策定するなかで優先度を高めて対応します。

### ② 郡上北消防署

### ③ 郡上中消防署南出張所

### ④ 郡上中消防署東詰所

#### 【適正配置計画における対応方針】

郡上北消防署は市北部地域の防災の拠点として、郡上中消防署南出張所及び郡上中消防署東詰所は市南部地域の防災機能を補完するため、消防防災機能を継続し、施設は予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

#### 【行動計画】

- 庁舎及び機械設備について、定期的な点検及び修繕を行い保全に努め、長寿命化を図ります。
- 24 時間体制を維持するために必要な仮眠室の感染症対策などについて、保全計画を策定するなかで優先度を高めて対応します。

## (3) スケジュール（ロードマップ）

施設名等		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8～10年度
全体事項	保全計画の策定	→→ 保全計画の策定		→→→→→→ 計画に基づく対応			
	消防設備・資器材の整備	→→→→→→→→→→ 整備計画等に基づく対応					
①郡上市消防本部・郡上中消防署		→→ 仮眠室等の環境改善		→→→→→→ 保全計画に基づく対応			
②郡上北消防署 ③郡上中消防署南出張所 ④郡上中消防署東詰所		→→ 仮眠室等の環境改善等の検討		→→→→→→ 保全計画に基づく対応			

## 4. 再編・再配置に向けて

「3. 各施設の再編・再配置のシナリオとスケジュール」に示すように、消防庁舎は現在の施設配置を継続することを基本としていますが、今後再編・再配置が必要な状況となった場合は、

関係団体等と協議のうえ合意形成を図りながら進めることとします。

**参考：庁内検討体制**

項目	分野	課名
責任課 (取りまとめ)	全体調整、 施設運営管理統括	消防本部
関係課 (全体調整)	財政計画、予算	総務部 財政課
	公共施設管理	総務部 契約管財課
	適正配置計画の進捗管理	企画課(必要に応じて公共施設アドバイザー)